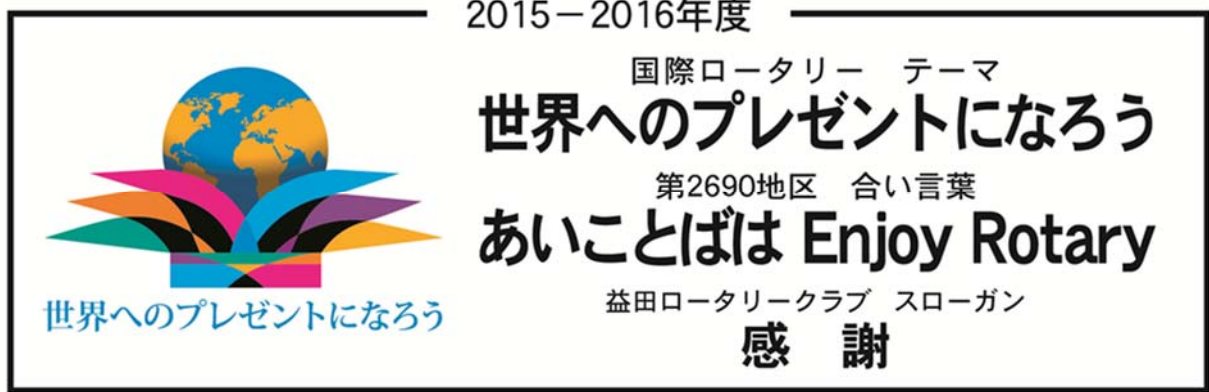




2016年5月6日〈金〉第1例会 第2666回
 例会場：益田商工会議所 2階会議室 事務局 TEL23-3392 FAX23-4069

青少年奉仕月間にちなんで

~~~~~プログラム~~~~~

- ◎開会の言葉 12:30 山根幹事
- ◎点鐘 佐々井会長
- ◎国歌斉唱・ロータリーソング〈奉仕の理想〉
- ◎四つのテスト ロータリー情報小委員会
- ◎ゲストスピーカー&ビジター紹介 佐々井会長
- 公益社団法人 益田青年会議所 理事長 鹿野 浩一（しかの こういち）様
- ◎入会式 久城 恵治（くしろ けいじ）様 【パン製造販売】  
 （松月堂マリード 代表取締役、スポンサー：田原会員）
- ◎5月慶祝報告 お誕生祝：森本会員、増野会員、田上会員 ご結婚祝：永島会員  
 — 乾 杯 —
- ◎食事案内《すし正》 右田SAA
- ◎会長挨拶 佐々井会長
- ◎スマイル報告 右田SAA
- ◎幹事報告 山根幹事
- 1. 本日例会終了後、「第8回会員勧誘プロジェクトチーム会議」を行います。
- 2. 次週13日、新入会員入会式を行います。また例会終了後、第12回〈5月〉理事会を行います。
- 3. 会員推薦について次の方が理事会で承認されました。賛否をお伺いしますので異議のある方は一週間以内に書面にて会長、幹事へお知らせください。  
 神田 伸 様（島根電工株式会社 西部支店 益田営業所 所長）
- 4. 「平成28年熊本地震」義捐金募金箱を回しますのでご協力をお願いします。
- 5. 明日7日（土）「新規米山記念奨学生オリエンテーション」開催（於：岡山）。高橋カウンセラーが許文嘉さんと出席します。
- 6. 8日（日）「第5グループ交流親睦ゴルフ大会」開催。高橋ガバナー補佐、増野・青木両ガバナー補佐幹事、佐々井会長、田原会員、森本会員、永島会員が出席します。
- 7. 次年度EM菌活動について、週報末に掲載しました。ご確認ください。
- 8. 配付物・・・『ロータリーの友』5月号（P36 佐藤ガバナー掲載）、ガバナー月信 Vol. 11（P3にIM報告掲載）、インターシティミーティングレポート（登録者）
- 9. 5月のロータリーレートは、1ドル=110円です（4月は116円）。 10. その他
- ◎委員会報告 クラブ管理運営委員会

| 総 員 | 出 席 | 欠 席 | 長 欠 | M U | 出席率 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 17名 | 名   | 名   | 名   | 名   | %   |

- ◎ゲストスピーチ 益田青年会議所 理事長 鹿野 浩一 様
- ◎閉会点鐘 13:30 佐々井会長

**MU** 4/24（地区研修・協議会）増野会員、永島会員、高橋会員、樫山会員、山根会員、矢富会員

**創立S36年1月24日 THE ROTARY CLUB OF MASUDA 承認S36年3月16日**

会長 佐々井智恵子 副会長 増野泰樹 幹事 山根哲朗 副幹事 永島一忠 会計 赤木利光 SAA 右田明

## 職場訪問例会 『益田広域消防本部』

### ◎ゲストスピーカー

益田広域消防本部 次長 村上 雅春（むらかみ まさはる）様

### ◎会長挨拶

皆様こんにちは。

今日は消防署にお邪魔しています。年中無休で私たちの安全を見守ってくださってありがたいことです。心より感謝申し上げます。

これに関連したお話を少しだけ、狭い道路に接して家を建築する場合、道路の中心を出してその位置から両側へ2mずつバックして建築しなければ建築確認が降りないそうです。我がクラブには1級建築士さんがいらっしゃるの、いい加減なことが言えませんが、たぶんその部分には構造物を造ってはいけないことになっていると思います。

これを繰り返し行うことでいつか4m道路が出来上がり、消防車が入ることができるようになっており、これを益田市では共に愛する道路という意味の「共愛道路」と言っているようです。

しかし、残念ながらその共愛のための2mバック分は建築が終わるといつの間にか庭に取り込まれ、ブロック塀が建てられ狭い道に逆戻りしているところが多々見られます。他人事ではありますがどうかしないと火事や救急の場合大変だろうと、狭い道を見るといつも思います。大きなお世話と言われるでしょうが……。

### ◎幹事報告

1. 次週29日(金)は昭和の日で休会、次回は5月6日(金)です。新入会員入会式を行います。また、5月例会予定に変更がありましたので訂正版を添付します。
2. 24日(日)「地区研修・協議会」開催(於:米子)。次期 増野会長、永島幹事と高橋会員、山根会員、矢富会員、櫛山会員が出席されます。当日は、永島幹事の車で6:30商工会議所を出発しますので、ご出席の皆様はよろしくお願いします。
3. 23日(土)・24日(日)「インターアクト地区協議会」開催(於:出雲)。神一IAC小委員長が23日に出席されます。
4. ガバナー事務所より「平成28年熊本地震」義捐金を地区で取りまとめる旨 連絡がありました。次回例会で募金箱を回しますので会員皆様にはご協力をお願いします。
5. その他

### ◎委員会報告

クラブ管理運営委員会

| 総 員 | 出 席 | 欠 席 | 長 欠 | M U | 出席率  |
|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 16名 | 12名 | 0名  | 0名  | 4名  | 100% |

### ◎ゲストスピーチ

「益田広域消防の現状」

益田広域消防本部次長 村上 雅春 様

### ◎施設見学

### ◎スマイル報告

\*今日は消防本部にお邪魔いたします。……佐々井会員

\*村上次長様にはたいへんお世話になりありがとうございます。……山根会員

\*村上雅春君、お名前を拝見したときから あの村上君と思いました。本日はお世話様になります。……森田会員

\*前例会欠席すみません。……森本会員

\*前回欠席。本日、消防本部おじゃまします。……矢富会員

\*益田広域消防本部 消防次長 村上雅春様、本日はよろしくお願いいたします。なお、明後日4月24日は毎年恒例の春日山登山イベントを開催します。もう一度登りたい方はどうぞ、お待ちしております。……青木会員

## 平成 28 年度～29 年度 EM 菌を用いた益田川の水質浄化計画

明誠高校インターアクトクラブ

活動名 : IAC 奉仕活動企画（小学校プール清掃・益田ロータリークラブの方々との活動）  
 目的 : 小学校のプールに EM 菌を入れることにより、益田川、高津川をきれいにするプロジェクトを益田ロータリークラブの方々と共に実施する。  
 参加者 : 明誠高校インターアクトクラブ（生徒会執行部を含む） 31 名  
 日時 : 以下の通り  
 場所 : 明誠高校、各小学校のプール

### 〔実施計画表〕

- ・第 1 活性液の作成日： H28 年 9 月 30 日（金）
- ・各小学校への EM 菌投入、プール掃除の日程

|        | EM 菌作成日      | プールへの投入日            | プール清掃時期 |
|--------|--------------|---------------------|---------|
| 益田小学校  | 10 月 14 日（金） | 10 月 28 日（金） 16:15～ | 月 日（ ）  |
| 吉田南小学校 | 10 月 28 日（金） | 11 月 11 日（金） 16:15～ | 月 日（ ）  |
| 吉田小学校  | 11 月 11 日（金） | 11 月 25 日（金） 16:15～ | 月 日（ ）  |
| 高津小学校  | 11 月 25 日（金） | 12 月 16 日（金） 16:15～ | 月 日（ ）  |

○H28 年度のプール清掃は吉田南小学校の予定。

### EM 菌プロジェクト 今までの成果

プールへ EM 菌を入れることで、入れる以前と比べてプールの水の汚れも少なくなり、においもほとんどなく汚れが落ちやすくなり、掃除がしやすかったという意見があった。また、洗剤を使わずに掃除をすることで環境にも、人体にも優しい活動となった。

H27 年 3 月には高津小学校の 5 年生を対象にして EM 菌についての説明会を実施した。益田ロータリークラブの方々がパワーポイントを利用して EM 菌の学習会を行い、インターアクトクラブのメンバーが実物や図を使って、EM 菌活性液の作り方を説明した。その後、皆でプールに行き、用意していた EM 菌活性液をプールへ入れた。翌年 6 月に一緒にプール清掃を行った。学習や清掃を通して異世代が交流し、一緒に環境について考える機会を得たことは大きな成果である。

毎年、市内 4 つの小学校を順番に訪問して、児童・教職員・益田ロータリークラブの方々と一緒にプール清掃を実施している。昨年度は吉田小学校（全員参加）、高津小学校（有志参加）の清掃に参加した。本校インターアクトクラブは他の部活動と兼部する生徒も多く、大会等で全ての活動に全員参加することは難しいが、できるだけ大人数で参加していきたい。

# EM 菌とは？

## 名前について

もともとは**有用微生物群** (Effective Micro-organisms) の頭文字をとって EM と名づけられました。

EM＝微生物となかなか結びつかないため、EM に微生物を指す『菌』を付け、いつしか EM 菌と呼ばれ始め人びとに浸透し活用され今日に至ります。EM の生みの親だって「EM 菌」と呼ぶ場面がある

昔から利用されている人の役に立つ**微生物**だけを**混合**することで有用性をパワーアップし、さらに使いやすくしたものが EM です。

## EM 菌の力

EM 菌は上で紹介したとおり”**有用な微生物の集まり**”です。

”有用な微生物”という表現よりも、一般的によく使われる”**善玉菌**”の方がわかりやすいかも知れません。

ご承知のように”**善玉菌**”とは”**悪玉菌**”の活動を押さえ込み、その場を健全な状態に整える働きを持っています。

微生物による有機物の分解は、作用が人に有用か否かで”**発酵**”、”**腐敗**”と呼び名が変わります。

例えば、ミルクを微生物が分解するとき、”**善玉菌**”によって**発酵**するとチーズやヨーグルトのような健康によい食品に変身します。

一方、”**悪玉菌**”によって分解されると悪臭の発生とともに**腐敗**し、口にするとおなかをこわしてしまいます。

EM 菌は有機物(有害物質も含む)を発酵させ、役に立つ物質を生成し、またその環境を浄化する力を持っています。

EM は**悪玉菌**をやっつけますが殺菌剤ではありません。場の微生物の勢力を”**悪玉菌優勢**”から”**善玉菌優勢**”に変化させるものです。

そもそも EM 菌が微生物そのものなのですから、薬剤ではないのです。

さらに付け加えますと、EM 菌に含まれる成分はもちろん肌に付いても大丈夫ですし、もし口に入っても全くの無害です。

その証に、ペットや家畜の飲み水に加えることで動物の健康管理にも利用されているんですよ。  
(自己責任で EM 菌を飲用されている方もいらっしゃいますが、人の飲料目的として販売しておりませんのでご承知おきください)

これまで、有用微生物の利用は限られた目的のために単独種で利用されることが多かったのですが、EM 菌は 80 種以上の微生物が混合されたユニークな微生物資材です。その様々な個性を持った微生物たちが、それぞれの得意分野を活かし協力しながらパワフルな抗酸化作用を発揮しているのです。

…悪玉菌をやっつけるのが得意な微生物、仲間のために黙々とエサを生産する微生物、抗酸化物質を作り出すのが専門の微生物、一心不乱に汚染物質を分解し続ける微生物…。

## EM 菌のこれまで

EM 菌は20年近くも前、琉球大学農学部 比嘉照夫教授により開発されました。

当初は農業での利用を主体とし、土壌改良、作物の品質向上を目的に研究され、その結果すばらしい成果をあげてきました。

しだいに、微生物が作り出す酵素や抗酸化物質が生活のあらゆる場面で有効であることがわかり、EM 菌の利用範囲は社会生活全般に広がっています。

利用者は農業、畜産業、水産業にとどまらず病院、理容店、花屋さん、クリーニング店、ペットショップ、食品加工業や飲食業、清掃業 etc.などの民間事業者はもちろん、行政機関も EM 菌を積極的に取り入れています。

そして、現在では個人が家庭の中で楽しみながら利用するケースが圧倒的に占めています。

EM 菌を応用した石けん、セラミックス、健康食品、衣類、食品容器などの製品も愛用者が増えて  
います。

シャボン玉石けん社の「EM 石けんシリーズ」が一番メジャーですが、一方で EM 石けんを手作りさ  
れている方も大勢います。

普段の生活の中に自然に浸透している EM 菌なのです。

## EM 菌の活用

### 公害問題と環境問題

公害問題に対し行政側、企業側ともに精力的に対策を講じてきた結果、改善策と防止策のノウ  
ハウが蓄積されてきています。そして多くの問題が解決されてきました。（補償問題ではなく公害  
予防策についてです・・・）

公害問題はその原因となる発生源を特定しやすく、集中的に対策を施すことができます。

一方、環境問題は公害に比べ、その影響エリアも広く、変化のスピードが緩やかなため気がつき  
にくいといった厄介な面があります。さらに環境問題は原因が複雑で、発生源・因子がなかなか  
特定できない場合が多いようです。

最近では、頻発する自然災害も人間が引き起こした環境破壊が要因ではないかと、環境対策が  
急務となっています。

### 環境問題と EM 菌

昨今、私たちも環境問題に関する報告などを知る機会が増えたので危機感を感じている方も少  
なくないと思います。

しかし、「環境破壊の影響を恐れ将来を心配するけど、なにをどうしたらいいか分からない」という  
方も大勢いらっしゃるようです。

でも実は、生きている限り誰しも環境破壊者でもあるわけです。程度の差はあれ快適な現代を生きるためには衣食住にわたって自然に犠牲になってもらっていることを忘れてはいけません。

とは言っても、快適な暮らしが悪いことではなく、ましてや生きていることが悪いというのではありません。

なによりも自分の普段の生活にも環境汚染の原因が潜んでいることを意識すること、改善のために小さなことでもいいから行動してみることが重要だと思うのです。

そこで、ぴったりののが EM 菌です！

私たちにできることから少しずつ環境にやさしい活動ができます。

- お洗濯の時の合成洗剤の使用量をちょっと減らし EM 希釈液または [EM 粉せっけん](#)を使う。
- こまめに EM 希釈液でお掃除。洗剤は極力使わない。
- 台所排水と一緒に EM 発酵液を流す。
- 垂れ流していた米のとぎ汁を EM 発酵液の原料として浄化源に変える。
- 生ごみを [EM 発酵容器](#)で堆肥化し家庭ごみをへらす。
- 家庭菜園・ガーデニングでも EM 散布で農薬・殺虫剤要らず。肥料はもちろん生ごみ堆肥。

こんな小さな行動でも十分です。

一人ひとりの小さな積み重ねが環境負荷をやわらげ、さらには浄化につながります。